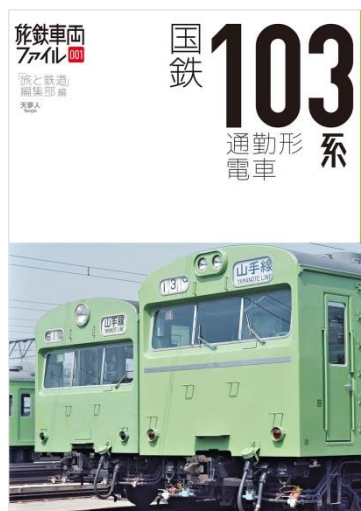


各 位

2021年6月15日
株式会社天夢人

日本の旅客用鉄道車両で最多の3447両が落成。
首都圏、京阪神地区などで活躍した103系電車を詳しく解説。
旅鉄車両ファイル 001『国鉄103系通勤形電車』刊行

インプレスグループで鉄道・旅・歴史メディア事業を展開する株式会社天夢人（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝峰富雄）は、2021年6月17日に旅鉄車両ファイル 001『国鉄103系通勤形電車』を刊行します。



日本の鉄道史に残る車両を詳しく解説する「旅鉄車両ファイル」。新シリーズの第1弾は、日本の旅客用鉄道車両で最多の3447両が製造され、現在も近畿地方で活躍を続ける103系通勤形電車です。

これまでも多くの書籍や雑誌で取り上げられてきた103系ですが、本書では特に技術面に注目して詳細を解説。20年に渡る増備の過程で、前部標識灯の2灯化、冷房化、ATCの搭載など、細かな改良が加えられていきました。国鉄分割民営化ではJR東日本、JR東海、JR西日本、JR九州の4社に承継され、更新工事や延命工事、運用に応じた改造など、会社、地域ごとにさまざまな改造が施されました。

本書では、これら増備過程での変化、国鉄・JR各社での改造など、写真を交えて解説していま

■103系が活躍した路線、そして現在も走る路線や編成も解説

国鉄時代から現在まで、103系が定期旅客列車として走った路線を紹介。懐かしいカラーで走る姿を掲載しました。また、現在も走っているJR西日本とJR九州の編成は、編成番号などのデータも交えて紹介しています。



■もくじ

●第1章 103系の概要

技術面からみた103系電車／103系0番代新造車の改良内容と分類／地下鉄直通運転用番代の概要／103系の改造車(国鉄時代編)／新製投入された路線と車両／JR時代の主な更新車・改造車／内装図鑑／103系のメカニズム……余話／103系の特別カラー列車／103系の前身形式・派生形式

●第2章 103系の記憶

運転に四苦八苦した103系／常磐線快速電車の103系

●第3章 103系が走った路線

山手線／京浜東北線／常磐線／根岸線／成田線／埼京線／赤羽線／川越・八高線／中央・総武緩行線／中央快速線／横浜線／青梅線／五日市線／武蔵野線／京葉線／鶴見線／南武線

／仙石線／中央西線・関西本線／阪和線／大阪環状線／桜島線／京阪神緩行線／関西本線
／片町線／おおさか東線／福知山線／山陽本線・宇野線／山陽本線・呉線・可部線

●第4章 103系のいま

103系の近況と今も走る路線／奈良線／和田岬線／加古川線／播但線／筑肥線

■旅鉄車両ファイルシリーズ

鉄道車両を形式やカテゴリごとに詳しく解説する新シリーズです。豊富な写真と資料、詳しい解説で、鉄道車両の魅力をお伝えいたします。

旅鉄車両 ファイル

【書誌情報】

書名:旅鉄車両ファイル 001 国鉄103系通勤形電車

仕様:B5判 144ページ

定価:2475円(本体2250円+税10%)

発売日:2021年6月17日

全国書店、オンライン書店のAmazonなどで発売中。

<https://amzn.to/3fahfev>

【株式会社天夢人】 <https://temjin-g.com/>

2007年設立。隔月刊雑誌『旅と鉄道(奇数月21日発売)』をはじめとする、鉄道・旅・歴史・民俗・カルチャーをテーマとした雑誌や書籍を発行し、人生を豊かにするための情報を発信しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:松本大輔、証券コード:東証1部9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」「学術・理工学」「旅・鉄道」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社天夢人 担当:林

Tel: 03-6413-8755 / E-mail: info@temjin-g.co.jp

URL: <https://temjin-g.com/>